

アジアにおける 獣医学教育研究ネットワーク



日時

2022年

11月16日 水

9:45~16:00(受付開始9:00)

定員 **120** 名

参加費無料

事前予約制

参加申込
方 法

宮崎大学産業動物防疫
リサーチセンターホーム
ページより



会場

宮崎大学330記念交流会館 コンベンションホール

(木花キャンパス)

同時オンライン配信

プログラム

第1部 アジアにおける獣医学教育ネットワーク

講演1

Veterinary Education Networks in Asia —WOAH's role

発表言語(英)
スライド(英)

国際獣疫事務局アジア太平洋地域事務所・地域獣医官 浦 辺 真 帆 先生

講演2

A Scenario on the Development of the Veterinary Education Establishment, VEE Accreditation Standard from Thailand to ASEAN; Challenge and Opportunity

発表言語(英)
スライド(英)

ASEAN獣医師ネットワーク委員長・タイ・チュラロンコン大学 Achariya Sailasuta 先生

講演3

Standard of Veterinary Education and Networks Among Veterinary Schools and Veterinary Association in Indonesia.

発表言語(英)
スライド(英)

アジア獣医師会連合事務総長・インドネシア・IPB大学 Bambang Pontjo Priosoeryanto 先生

講演4

Creation of an Education and Research Base for Countermeasures for the Prevention of Animal Infectious Diseases and Global Human Resource Development by the Center for Animal Disease Control, University of Miyazaki -Aiming at Education and Research Collaboration in Asia-

発表言語(日)
スライド(英)

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター 三 澤 尚 明 先生

第2部 アジアにおける動物感染症研究ネットワーク

タイ

英語講演

リーシュマニア症 チェンマイ大学 Saruda Tiwananthagorn 先生

インドネシア

英語講演

口蹄疫 BRIN Harimurti Nuradji 先生

韓国

英語講演

鳥インフルエンザ 全北大学 Se-Yeoun Cha 先生

ベトナム

英語講演

アフリカ豚熱 ベトナム国立農業大学 Mai Thi Ngan 先生

日本

日本語講演

家畜感染症の免疫学的研究 宮崎大学 乗 峰 潤 三 先生

お問い合わせ先

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

TEL.0985-58-7674

e-mail: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

HP: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/index.php>

主 催: 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

共 催: 宮崎大学農学部

特別共催: 公益財団法人宮崎県観光協会 MICE推進局

名義後援: 農林水産省、宮崎県、日本獣医師会、8大学産業動物防疫コン
ソーシアム

新型コロナウイルスの流行状況により開催内容に変更が生じた場合は、ホームページ上で随時お知らせいたします。

Program

9:50- Opening Remarks

Dr. Hiroshi Sameshima, President, University of Miyazaki.

Master of the symposium; Dr. Hirohisa Mekata, CADIC, UOM

Part1: “VETERINARY EDUCATION NETWORKS IN ASIA”

(10:00-12:25)

Chairperson: Dr. Tamaki Okabayashi, CADIC, UOM

10:00- Veterinary education networks in Asia — WOAHA's role

Dr. Maho Urabe, World Organisation for Animal Health, Japan.

(Presentation 35min, Q&A 10min)

10:45- A Scenario on the Development of Veterinary Education Establishments, VEEs Accreditation Standard from Thailand to ASEAN; Challenge and Opportunity

Dr. Achariya Sailasuta, Chair of ASEAN Veterinary Statutory Body Network, AVSBN and Professor, Center of Excellence on Companion Animal Cancer, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand. Thailand (P:15min, Q: 5min)

11:05- Standard of Veterinary Education and Networks Among Veterinary Schools and Veterinary Association In Indonesia.

Dr. Bambang Pontjo Priosoeryanto, Secretary General of the Federation of Asian Veterinary Association (FAVA) and Graduate Study Program of Animal Biomedicine Sciences IPB University, Indonesia. (P:15min, Q: 5min)

11:25- Group Photo & Coffee Break (15min)

Chairperson: Dr. Ayako Yoshida, CADIC, UOM

11:40- Creation of an education and research base for countermeasures for the prevention of animal infectious diseases and global human resource development by the Center for Animal Disease Control, University of Miyazaki -Aiming at education and research collaboration in Asia-

Dr. Naoaki Misawa, Center for Animal Disease Control, University of Miyazaki, Japan.

(P:35min, Q: 10min)

12:25- Lunch Break

Part2; “ANIMAL INFECTIOUS DISEASE RESEARCH NETWORK IN ASIA”

(13:30-15:50)

Chairpersons: Dr. Achariya Sailasuta, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand.

Dr. Bambang Pontjo Priosoeryanto, Graduate Study Program of
Animal Biomedicine Sciences IPB University, Indonesia

13:30- Leishmaniasis: an emerging neglected disease of livestock

Dr. Saruda Tiwananthagorn, Chiang Mai University. (P:15min, Q: 5min)

13:50- Foot and Mouth Disease in Indonesia: Current Update and Control Strategies

Dr. Harimurti Nuradji, Research Center for Veterinary Science, National Research and Innovation Agency (BRIN), Bogor, Indonesia. (P:15min, Q: 5min)

14:10- Current Status and Control Strategies of the Avian Influenza in Korea

Dr. Se-Yeoun Cha, Center for Poultry Diseases Control, Jeonbuk National University, South Korea
(P:15min, Q: 5min)

14:30- Early-phase risk assessments during the first epidemic year of African Swine Fever in Vietnam

Dr. Mai Thi Ngan, Department of Veterinary Microbiology and Infectious Diseases, Faculty of Veterinary Medicine, Vietnam National University of Agriculture, Hanoi, Vietnam(P:15min, Q: 5min)

14:50- Coffee Break (15min)

Chairperson: Dr. Satoshi Sekiguchi, Faculty of Agriculture, UOM,

15:05- Immunological Research on Livestock Animals

Dr. Junzo Norimine, Laboratory of Animal Infectious Disease and Prevention, University of Miyazaki, Japan (P:35min, Q: 10min)

15:50 Closing Remarks: Dr. Ayako Yoshida, Director & Professor, Center for Animal Diseases Control, University of Miyazaki

Reception: Hotel Merieges; MANDARIN (18:30-)

超音波診断装置を用いた産肉評価手法？



□「肉用家畜における超音波画像情報を用いたこれまでの研究と今後の展望」

徳永 忠昭 氏（宮崎大学農学部畜産草地科学科）

□「栃木県における超音波肉質診断技術研究の取組と生産現場における活用について」

川田 智弘 氏（栃木県農政部経営技術課）

日時：令和4年11月30日（水） 15:15～16:45

場所：農学部講義棟1階・L103

本セミナーでは、鹿児島県で開催された全国和牛能力共進会“肉牛の部”の各地域代表牛を選畜する上でも活用された“超音波診断装置を用いた産肉評価手法”について、超音波診断装置を活用した研究や生産現場への応用に携わってきたCADIC畜産研究・支援部門の研究者より、これまでの研究成果や今後の展望などを紹介します。教員・学生の皆さま、ぜひご参加ください。

世話人：

農学部畜産草地科学科 徳永 忠昭（内7199）

(toku@cc.miyazaki-u.ac.jp)

宮崎大学CADIC特別セミナー

薬剤耐性菌に立ち向かう

(食品に潜む耐性菌 / 新たな治療戦略)



◆ 日時：2022年12月9日(金) 16:30 ~ (18:10予定)

◆ 場所：宮崎大学農学部講義棟2階・L204

相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学科・准教授

下島 優香子氏

食肉から検出される薬剤耐性菌の現状と対策

抗菌薬は家畜にも使用され、薬剤耐性菌が発生します。そして食肉を介して私たちに伝播する可能性が指摘されています。食肉における薬剤耐性菌の現状とその対策への取組みについて紹介します。

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 基盤研究施設・教授

岩瀬 忠行氏

抗体と近赤外光で病原体を選択的に駆除する方法

多剤耐性菌を含む細菌やSARS-CoV-2を含むウイルス等の様々な微生物病原体を、抗体と近赤外光で選択的に除去することが可能な、世界初の治療戦略を紹介します。
(本研究の成果は、Communications Biologyに2022年7月発表)

本セミナーでは、薬剤耐性菌における食品中の汚染実態や、新たに開発された治療戦略についてご紹介いただきます。本学の教員・学生の皆さま、ぜひご参加ください。学外からのご参加も歓迎します。

世話人：農学部畜産草地科学科 井口純 (iguchi@med.miyazaki-u.ac.jp)



ヒトと動物の関係を考える

本セミナーでは、宮崎大学でこれまで20年以上にわたり行われてきたヒトと動物の関係に関する研究について、最新の世界事情も含めてご紹介いただきます。

日時：令和5年1月21日（土）14:00-16:50

**場所：宮崎大学附属図書館本館（木花キャンパス）
3階「hidamari」**

宮崎大学 CADIC 感染症研究・検査部門 客員教授
人とペットの共生環境研究所 所長

🐾 中塚 圭子 氏

「行動学から見えてくるヒトと動物の関係」

宮崎大学 CADIC 感染症研究・検査部門 教授

🐾 三澤 尚明 氏

「感染症から見えてくるヒトと動物の関係」

宮崎大学 CADIC 国際連携・教育研究部門

フロンティア科学総合研究センター 准教授

🐾 井田 隆徳 氏

「子ども達との関わりから見えてくるヒトと動物の関係」

**参加無料・学内・学外、どなたでも参加できます。
リモート配信あり。
申込はQRコードからかメールにてお願いします。**



◆主催：宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

◆共催：宮崎大学ボランティアサークル「びいだま」 / 宮崎FUN🐾DOG

世話人：宮崎大学 井田隆徳 (a0d203u@cc.miyazaki-u.ac.jp)

宮崎大学CADIC特別セミナー

ミツバチと豚の細菌感染症研究

ふそ
(腐蛆病菌と豚レンサ球菌の最新知見)



◆ 日時：2023年1月24日(火) 16:30 ~ (18:10予定)

◆ 場所：宮崎大学農学部講義棟2階・L204

農研機構・動物衛生研究部門
動物感染症研究領域 細菌グループ

高松 大輔氏

ミツバチだって病気になる!

~ミツバチの健康を脅かす細菌感染症の話~

農研機構・動物衛生研究部門
越境性家畜感染症研究領域 疫学・昆虫媒介感染症グループ

大倉 正稔氏

豚の細菌感染症

~ヒトにも感染する豚レンサ球菌~

本セミナーでは、養蜂や畜産に関連する細菌感染症の現状や研究成果、対策や今後の展開などについてご紹介いただきます。本学の教員・学生の皆さま、ぜひご参加ください。学外からのご参加も歓迎します。

世話人：農学部畜産草地科学科 井口純 (iguchi@med.miyazaki-u.ac.jp)



宮崎大学CADIC特別セミナー



講演者: **西園 晃** 先生
大分大学グローバル感染症研究センター
センター長

演題:「狂犬病に関する総合的研究と大分大学
グローバル感染症研究センターの紹介」

日時: 2023年2月17日(金) 10:00-10:40
会場: 宮崎大学農学部北棟2階 第1会議室(N217)

大分大学グローバル感染症研究センター長の西園 晃 先生をお招きし、狂犬病に関する総合的研究と2021年10月に開設された大分大学グローバル感染症研究センターの紹介をしていただきます。申込不要です。是非ご参加ください。



お問い合わせ
宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター(CADIC)
e-mail: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp
Tel : 0985-58-7674

6大学共催フォーラム第12回

10年, 20年後の食の安全を考える

How we should prepare for future food-safety issues in risk management

Food Safety

HACCP

Risk management

Food Science

Agronomics Immunology

Food Agronomy

Food Security

食の安全が抱える将来課題と新たな解決法の模索

同時開催：大阪公立大学の「食」への取り組み

開催日：2023年3月9日（木）9:30～18:00

会場：大阪公立大学I-siteなんば

参加費：無料

共催：大阪公立大学 食品安全科学研究センター
東京大学 食の安全研究センター
神戸大学 食の安全・安心科学センター
岩手大学 動物医学食品安全教育研究センター
東北大学 食と農免疫国際教育研究センター
宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター

後援：日本食品微生物学会、日本食品衛生学会

本フォーラムWebサイト：<https://www.vet.osakafu-u.ac.jp/pub/coforum6/>



Osaka
Metropolitan
University



6大学共催フォーラム第12回事務局
大阪公立大学大学院獣医学研究科 獣医公衆衛生学研究室
〒598-8531 泉佐野市りんくう往来北1-58
Email: co.forum6@gmail.com



6大学共催フォーラム第12回

フォーラム開催趣旨

食の安全に関わる様々なリスク要因は、社会状況に応じて変化します。例えば世界規模の感染症は私たちの食生活に大きな影響を与えることがわかりました。エネルギー問題、SDGsへの対応が迫られる中、普遍的と思われてきた原材料（例えば動物肉）の使用すら、将来にわたって利用可能なのかは不透明です。また様々な科学技術の発展を背景に、人の考え方そのものの変革が求められています。

そんな中、食の安全に関わるリスク管理の手法は、今後10年後、20年後も変化しないはずはありません。私たちは、やがて来る大きな変化に対していかに向かい合うか、今から備える必要はないのでしょうか。

このような考え方から本フォーラムを企画、高い専門性を持つ研究者にお集まりいただき、ご講演と議論をお願いしています。また、今年開学した大阪公立大学の「食」への取り組みも紹介する時間を設けています。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

代表世話人 大阪公立大学 大学院獣医学研究科 三宅 真実



講演プログラム

第1部：大阪公立大学の「食」への取り組み (9:40～11:20)

- ・いかにしてカンピロバクター食中毒を減らすか
- ・線虫 *C. elegans* を代替モデルとして老化・生体防御と食の関わりに迫る
- ・食品成分の機能性による骨格筋の健康へのアプローチ
- ・食と超硫黄：新興硫黄生物学が拓く新たな食品科学
- ・食品のリスク因子と安全性評価

畑中 律敏（獣医学研究科）
中台（鹿毛）枝里子（生活科学研究科）
山地 亮一（農学研究科）
居原 秀（理学研究科）
鰐淵 英機（医学研究科）

報告会：6大学センターの活動報告 (11:30～12:00)

第2部：10年、20年後の食の安全を考える (13:20～15:50)

- ・感染性食中毒の現状とその将来展望を考える
- ・食品微生物制御へのバクテリオファージの利用と展望
- ・大規模コホートデータを活用した化学物質の発がんリスク解析
- ・腸管樹状細胞の特性を基盤とした次世代粘膜ワクチンの開発

河合 高生（大阪健康安全基盤研究所）
宮本 敬久（九州大学大学院農学研究院）
石原 淳子（麻布大学食品生命科学科）
植松 智（大阪公立大学大学院医学研究科）

第3部：パネルディスカッション (15:50～17:20)

参加申し込み

6大学共催フォーラム第12回のWebサイト（右記QRコード）よりお申し込みください。

<https://www.vet.osakafu-u.ac.jp/pub/coforum6/>

*定員（約80名）に達し次第締め切らせていただきます。ご了承ください。



個人情報の取り扱いについて

ご記入内容は、フォーラム参加者数の把握と会場での入場者確認、本フォーラムに関する事務局からの連絡にのみ利用します。また個人情報保護に関する方針に従い、必要な安全管理措置を行います。

会場案内：大阪公立大学I-siteなんば

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号

南海なんば第1ビル

Tel 06-7656-0441（代表）

- ・南海電鉄「なんば駅」下車、南海線東側の道を南へ徒歩約12分
- ・地下鉄御堂筋線「なんば駅」下車、南へ徒歩約15分
- ・地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅」下車、東へ徒歩約7分

お問い合わせ

6大学共催フォーラム第12回事務局

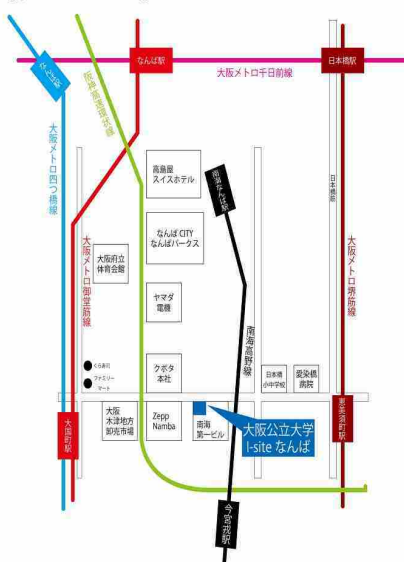
Email: co.forum6@gmail.com

*Webサイトにもお問い合わせフォームを用意しています。
ご利用ください。



Osaka Metropolitan University

【なんばからのアクセス】



第96回 日本細菌 学会総会

in 姫路

2023

3.16_木 - 18_土



The 96th Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology

会場：アクリエひめじ(姫路駅から徒歩10分)

総会長：飯田哲也(大阪大学微生物病研究所)

大会ホームページ：<https://www2.aeplan.co.jp/jsb2023/>



ICD 講習会

薬剤耐性菌の理解とマネージメント

3 月 18 日 (土) 15:30~17:30

第 1 会場 (大ホール)

司会：明田 幸宏 (国立感染症研究所)

ICD-1

薬剤耐性菌の現状

○朝野 和典 (大阪健康安全基盤研究所)

ICD-2

世界における薬剤耐性菌

○明田 幸宏 (国立感染症研究所・細菌第一部)

ICD-3

抗菌薬適正使用の考え方

○具 芳明 (東京医科歯科大学医歯学総合研究科・統合臨床感染症学分野)

ICD-4

薬剤耐性菌を意識した感染対策

○鍋谷 佳子 (大阪大・医・附属病院・看護部)

シンポジウム

S1 生体防御研究の現状と展望

3 月 16 日 (木) 9:10~11:40

第 2 会場 (中ホール)

コンピーナー：中川 一路 (京都大学)

金城 雄樹 (東京慈恵会医科大学)

共催：日本生体防御学会

S1-1

Cholesterol metabolism associated with the innate immune response against viral infection

○押海 裕之 (熊大・生命・免疫)

S1-2

結核菌 Zmp1 による IL-1 β 産生抑制の分子機構○松崎 吾朗^{1,2}, 高江洲 義一^{1,2} (¹琉球大・熱生研・分子感染防御, ²琉球大・医院・生体防御)

S1-3

Neural control of gut homeostasis through regulation of the microbiota and pathogens in *Drosophila*

○倉田 祥一郎 (東北大・院・薬)

S1-4

Rab GTPase ネットワークが制御する細胞内膜輸送経路と細菌感染

○野澤 孝志, 村瀬 一典, 中川 一路 (京大・院医・微生物)

S1-5

抗酸菌に対する自然免疫と獲得免疫の共闘

○山崎 晶 (阪大・微研/IFReC・分子免疫)

S2 ワンヘルスの基礎と実践のフロントランナー

3 月 16 日 (木) 9:10~11:40

第 3 会場 (407)

コンピーナー：三室 仁美 (大分大学)

井口 純 (宮崎大学)

共催：大分大学グローバル感染症研究センター, 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

S2-1

農環境に潜むヒト病原真菌の薬剤耐性株

○萩原 大祐^{1,2} (¹筑波大・生命環境, ²筑波大・MiCS)

S2-2

Escherichia 属細菌の動物適応がもたらすヒト病原性

○小椋 義俊 (久留米大・医・感染医学)

S2-3

野生動物や自然界における薬剤耐性菌の伝播・拡散

○浅井 鉄夫 (岐阜大・院・連合獣医学研究科)

S2-4

ベトナムにおける薬剤耐性菌のワンヘルスアプローチによるサーベイランス

○春日 郁朗 (東大・先端研)

S2-5

プリオン病研究の現在

○新 竜一郎 (宮崎大・医学・微生物)

S2-6

ワンヘルスの視点からの狂犬病とその予防

○西園 晃 (大分大・医・微生物学)

S3 ファージ vs 細菌 その仁義なき？戦い

3 月 16 日 (木) 9:10~11:40

第 4 会場 (408)

コンピーナー：氣賀 恒太郎 (国立感染症研究所)

安藤 弘樹 (岐阜大学・アステラス製薬)

共催：日本ファージセラピー研究会

S3-1

細菌とファージの生存競争

○大塚 裕一 (埼玉大・院・理工)